

について、適正に統一を図らなければならぬ。また、平成22年度以降赤字経営。32年度までに累積損失を解消し、健全な経営を図っていききたい。

賛成討論

水道料金の統一は必然の課題だ。今後の施設の老朽化、維持管理、災害対策を考えると料金改正は避けられない。

反対討論

加入者分担金の収益的収入への変更や県水承認基本水量契約の見直しなど、企業努力で値上げ幅は抑えられる。

指定管理の指定

■ 勝幡児童館
(愛西市社会福祉協議会)

■ 草平児童館
(西川端保育園)

■ 立田北部子育て支援センター
(美和多福祉会)

■ 立田南部子育て支援センター
(美和多福祉会)

■ 開治子育て支援センター
(八開福祉会)

平成28年3月31日に指定管理期間が満了となるため、指定管理者の指定について議決に付す必要があるためのもです。

質疑 この5年間にそれぞれの施設についてどのような評価がされたのか。また、指定管理者の募集について、市内の枠を外したことはどうか。

答弁 毎年度末にモニタリング聞き取り調査を行い管理が適正かどうかの評価をした。公募に対する応募が少ないため、広く募集することにより競争原理をもって良い業者を選びたい。

平成27年度補正予算

一般会計補正予算

補正額 1億5千917万6千円
総額 216億266万2千円

保育費の公定価格単価確定に伴う施設型給付費の追加、佐屋北保育園プール取り替え工事費、佐屋保健センター事務室改修工事設計管理委託料、文化会館修繕工事実施設計委託料、市制施行10周年を記念し、ユネスコ無形文化遺産候補の「山・鉾・屋台行事」を市民に周知し、登録の啓発をはかる事業費。

質疑 公共事業整備基金繰入金を減額して、特例債の事業債を増額した理由は。

答弁 新市建設計画の変更で、平成32年度まで合併特例債が活用できるようになり、より効率的な財源充当案として合併特例債と基金を併用する形とする。

質疑 佐屋保健センターに健康推進課を集約する工事後に、佐屋保健センターの利用はどのように変わるのか。

答弁 健診事業などの一部は引き続き佐屋保健センターで行うが、保健師は佐屋保健センターに集約する方向で検討している。

■ 介護保険特別会計補正予算
【保険事業勘定】

補正額 1千397万5千円
総額 44億6千289万5千円

○ 認知症初期集中支援推進事業を七宝病院に委託

質疑 認知症初期集中支援推進事業委託料は津島市と弥富市が単独で行う中、あま市と愛西市が共同で行う経緯は。

答弁 近隣の介護保険情報交換会で協議し、愛西市にはサポート医がいなかったため、認知症患者医療センターを設置する七宝病院に委託することになった。

推薦

■ 人権擁護委員候補者

荻野 周子 氏(勝幡町)

山田 彰子 氏(鰯江町)

真野 一恵 氏(須依町)

を適任としました。

意見書

■ 定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書

■ 国の私学助成の拡充に関する意見書

■ 愛知県の私学助成の増額と拡充に関する意見書

が採択されました。